



あいせんだより

令和2年 9月号



あそびこそ学び

～遊びの大切さを大人が理解する～

猛暑が続いた夏が終わり、暦の上では立秋も過ぎましたが、まだまだ残暑を感じます。今年度は感染予防の為、保育参観・参加の受け入れが出来ておりませんが、日常の子ども達の様子をお知らせする機会を増やしていきたいと思ひます。また、お子さんの事で気になることがありましたら、担任までお申し出下さい。

保護者の皆様には「検温」「マスクの着用」「手指の消毒」にご協力頂きましてありがとうございます。新型コロナウイルスの終息はまだ見えませんが、引き続き感染予防をしっかりと行いながら保育していきたいと思ひますので、ご理解ご協力をお願い致します。



ハイハイしてお目当てのおもちゃにたどり着き、落ちているおもちゃを手にして、楽しそうに振っている姿を目にするようになりました。これは自然な発達の一場面です。遊んでいるように見えますが、これは腕の機能が発達し、自由に使えるようになったことの表れです。部屋にはこの時期に合わせて音の鳴る玩具を用意してあります。この玩具で遊ぶことで、「こうすると音が出る」「違う音がするな」「この音が好き」などと知らず知らずのうちに素材と環境を学ぶことになっています。通り過ぎてしまいがちな子ども達の姿にはそれぞれ発達に合った行為が表れています。

< 今月の予定 >

- 3日(木) 写真撮影(遊び・日常の様子)
すみれ・たんぽぽ・ちゅうりっぷ
ゆり・すずらん
- 7日(月) かき氷屋さん(幼児組)
- 11日(金) 写真撮影(遊び・日常の様子)
つぼみ・つくし
さくら・こすもす・ひまわり

7月のお楽しみ会では気温が低かった為、かき氷屋さんはお休みしました。今月はまだまだ気温が高い日が続きますので、改めてかき氷屋さんを開店したいと思ひます

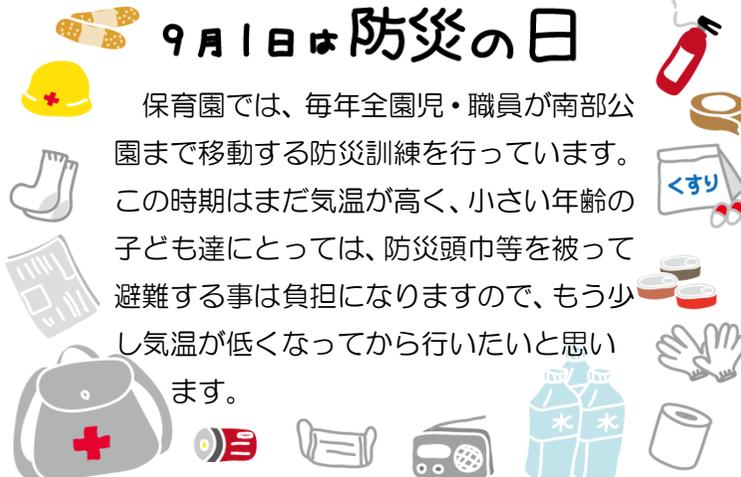


発達どおりといえ、こんな場面にも出くわしました。幼児クラスになると複雑な積み方や色彩を整えた作品を完成させる力がありますが、2歳児クラスでは見立てて遊ぶ段階があります。線路と人型積み木を使って好きな形に積み、3人でしっかりとファンタジーの世界に入り込んでいました。



9月1日は防災の日

保育園では、毎年全園児・職員が南部公園まで移動する防災訓練を行っています。この時期はまだ気温が高く、小さい年齢の子ども達にとっては、防災頭巾等を被って避難する事は負担になりますので、もう少し気温が低くなってから行いたいと思ひます。



お知らせ

今月は、交通安全教室(幼児組)が予定されていましたが、今年度は中止になりました。各クラスで交通安全について話す機会をとっていききたいと思ひます。



暑い夏も
元気いっぱい子ども達です！



初めての水遊びですが、冷たい水に触れて大喜びでした。



洋服が濡れても全然平気。入れ物で水をすくったり、水鉄砲人形で遊んだり、冷たい水の感触を楽しみました。



園庭の真ん中にぞうさんスプリンクラーを置くと、どこまで近づけるか次から次へと子ども達が集まってきます。冷たくとても気持ちが良いようです。



砂場に水を流し、川を作りました。川の中に舟を浮かべ動かしたいのですが、なかなか上手くいかず、みんなであれこれ相談しています。この過程（考えたり、話し合ったり等）がとても大事なのです。たくさん悩んでほしいです。



色水でジュース屋さんを楽しんだり、赤ちゃん人形をお風呂に入れたり、いろいろな水遊びを楽しみました。



どちらのチームが先にバケツに水を満タンに出来るか競争です。応援にも力が入ります！



「今から花火をするから見て…」今年は花火大会が中止になりましたが、テレビで打ち上げ花火でも見たのでしょうか、再現をしていました。

「もっと近くでも見られますよ」「見たかったら、ここで手の消毒をして下さい」「お熱も測りますね」と体温計をおでこに「ピッ！」子ども達は、今の現状も楽しそうに遊びに取り入れていて微笑ましくなりました。



突然どしゃぶりの雨が降って来ました。子ども達は「いっぱい降っているね～」と言いながら、テラスからその様子を見ていました。雨がやんだら園庭中が水たまりになりました。「行ってみる？」子ども達は大喜びで部屋から飛出し、芋畑の周りをぐるぐる走りまわったり、水たまりに足を入れたり、お家では出来ない夏ならではの体験をしました。



お部屋の中にブルーシートを敷き、魚釣り遊びを楽しみました。自分達で作った魚も泳いでいます。釣った魚を見て「お寿司屋さんをしようかな？」このようなやり取りから子ども達の遊びは広がっていきます。



幼児組では、食事の間の間隔をとる為に、年長児はホールで食事をしています。